

# 幸手を元気に！

## 住みたくなるまちづくりへ

Vol.5 令和元年 11 月発行



坂本達夫

幸手市議会議員

### デマンド交通の見直しを

利用者数をみると、デマンド交通は循環バスの 1/3 以下となっています。

公共交通を利用したくても、利用できない市民が多数います。デマンド交通を見直し、多くの市民が利用できる公共交通網とすべきです。その際参考となるのが、以前実施していた循環バスです。

#### 循環バスとデマンド交通の比較

	概 要	年間利用者数
循環バス	コースの数 4 コース 停留所数 163 箇所 1 日の便数 各コース 4 便 運行日 毎日（年末年始を除く） メリット 運行時刻表がある デメリット 遠回りして目的地へ行くことになる	平成 24 年度 32,482 人 平成 25 年度 31,082 人 平成 26 年度 31,280 人 平成 27 年度 28,454 人
デマンド交通	予約受付 利用 1 週間前から 目的地 市内 339 箇所 運行日 月曜日～土曜日 (祝日及び年末年始を除く) メリット 自宅から目的地まで直行する デメリット 予約を取るのが難しい	平成 27 年度 4,186 人 (10 月～3 月運行) 平成 28 年度 11,088 人 平成 29 年度 8,581 人 平成 30 年度 8,726 人

令和元年8月26日、幸手市から平成30年度に実施したシミュレーションの結果報告がありました

## 1. シミュレーションの目的

大中落とし・中落とし流域における河川整備計画での降雨パターンを基にシミュレーションを行い、調節池の必要性の有無及び浸水状況を調査する。

## 2. シミュレーション実施期間

平成30年度

## 3. 降雨パターン

2日間で217mmの降雨

## 4. 整備する条件

- ①倉松川上流（国道4号から起点である県道幸手久喜線との交差付近）の未整備区間の整備が完了した場合
- ②流域地内に調節池（約4万立方メートル）を設置した場合

## 5. シミュレーション結果

### ①現在の状態の降雨パターン

中5丁目わんわん公園付近 最大深水 24cm

### ②倉松川上流の未整備区間の整備が完了した場合の降雨パターン

中5丁目わんわん公園付近 最大深水 6cm

### ③倉松川上流の整備が完了し流域地内に調節池を設置した場合の降雨パターン

中5丁目わんわん公園付近 最大深水 0cm

## 今後の対応は

倉松川上流の未整備区間の整備及び流域区内に調整池を設置することです。倉松川の整備は埼玉県の実業であるため、県に対し早期実現をお願いします。また、調整池は市の事業のため早期実現に向けて努力します。



### 坂本達夫

〒340-0163  
埼玉県幸手市中川崎1-3  
電話: 090-1242-0867  
メール: sattegenki@gmail.com  
ホームページ: sattegenki.com

### 役職等

- ・幸手市体育協会長倉支部役員
- ・長倉小学校応援団員
- ・埼玉県地球温暖化防止活動推進員
- ・中川崎保全組合役員
- ・幸手市民環境ネット役員
- ・川崎共楽会役員

### プロフィール

昭和28年幸手生まれ  
幸手小、幸手中、幸手商業高卒業  
昭和47年埼玉県庁入庁  
昭和50年埼玉大学経済短大卒業  
平成26年埼玉県庁退職  
平成27年幸手市議選得票数 748票  
平成31年幸手市議選得票数 1402票  
(初当選)